

# 山形東高

# 同窓会報

平成27年4月1日

第67号

【発行所】  
〒990-8525 山形市緑町1-5-87  
山形東高同窓会事務局  
TEL・FAX (023) 631-7501  
【発行人】  
今野 雅行  
【印刷所】  
坂部印刷株式会社  
TEL (023) 631-2056



## 平成26年度同窓会まつり

東紋会・東珀会

創立130周年という節目の同窓会まつりは、去る10月17日金曜日の夕べ、ホテルメトロポリタン山形に600名を超える同窓の老若男女が集い盛大に開催されました。

総会は、物故会員80余名への黙祷が捧げられ、浜田敏同窓会会長が挨拶された後、役員任命、決算、事業計画及び予算の各議案が滞りなく承認されました。また、創立130周年事業についての経過報告が行われました。

表彰式は、国歌斉唱の後、永年勤続者として渡邊季子先生に感謝状が贈られ、與田博利氏が同窓会功労者として表彰されました。また、真田宗厚氏をはじめ昭和32年卒「一行会」58名の皆様が祝賀を受けられました。

懇親会は、校歌斉唱、浜田会長の挨拶の後、高橋聖東京同窓会長、佐竹俊明校長から祝辞をいただきました。現役生徒の応援団とチアリーダー総勢21名の若さあふれるエールに喝采を送った後、青山恵一郎氏の発声により乾杯となりました。祝宴では恩師をはじめ先輩後輩、同学年の懐かしい再会、交歓が行われ、テーブルを越えて大小の輪があちらこちらに咲きました。アトラクションは、オペラ歌手として活躍している東紋会の相澤伸彦氏による圧巻の歌声が同じく名和生公

氏のピアノ伴奏に載せて披露され、満場の拍手喝采を浴びました。また、「まつり」の合間には、ラジコンヘリで撮影した迫力ある母校の映像が写しだされ、会場の目をくぎ付けにしました。楽しい時が過ぎるのは早いもので、まだまだ名残惜しい中、「おゝ勝利」の大合唱で締めくくり、野々村政昭氏の万歳三唱でお開きとなりました。

今年度の当番幹事は東紋会（山東27回）と東珀会（山東49回）で、実行委員長は東紋会の高橋修が、副実行委員長は東珀会の丹野一史が務めました。この間、開催案内やチケット販売、当日の進行などについて今野同窓会事務局長をはじめ、昨年の当番幹事並びに各学年の評議員の方々、関係者の皆様にご指導ご協力をいただきました。この場をお借りして深甚なる感謝を申し上げます。「まつり」開催まで、当番幹事一同は半年にわたり準備を重ねてきました。世代を越えた交流は大変楽しいものでしたし、長年引き継がれてきた「まつり」の意義もあらためて確認することができました。

伝統ある「山形東高同窓会まつり」が150周年、200周年と幾久しく開催されますように。

（記 東紋会 小関 一哉）





## 御 礼

校 長 佐竹 俊明

同窓生の皆様には、日頃より母校の教育活動に対してご理解とご協力を賜り、御礼申し上げます。また昨年は、創立130周年記念事業の実施にあたり、ひとかたならぬご支援をいただき、感謝申し上げます。

10月29日の創立記念式典では、私たちの大先輩である結城豊太郎先生と三浦新七先生の話をさせていただきました。二人は、1891(明治24)年に当時の山形県尋常中学校に入学しておりますが、学校が終わるとよく馬見ヶ崎川近くの盃山に登って、「俺たちはきっと世のため、人のために役立つ人間になろうぜ」「うん。もっと勉強して国家のため、国民のために働こう」と話をしたそうです。二人は山中卒業後、違った道を歩むこととなりますが、その学問的基礎は、山形中学時代にあったと言えます。

それから120年以上経過した現在の山形で学ぶ生徒には、校是の一つである「文武両道」を実践してほしいと期待を込めてお話しました。文武の「文」は、勉強・学問のことと考えていいと思いますが、高校での勉強は「大学入学のため」と考えがちな生徒も多くいます。しかし、勉強・学問は、社会人となっても大切なものであり、福沢諭吉は「学問のすすめ」で、「**学問本来の趣旨はただ読書にあるのではなく、精神の働きにある**」として observation (物事を観察すること) と reasoning (物事の道理を推理して自分の意見を立てること) を薦めています。「学問のすすめ」が出版されてから130年以上経った現代でもあてはまることでもあります。

文武のもう一つの「武」については、部活動の他に生徒会活動、ボランティア活動なども含めて考えています。こうした活動は、家族・仲間・先生はじめ周りの人の支援・協力があって初めてできるものであり、そうした人への感謝、思いやりの心を持って臨めば、生徒諸君が文武両道の校是を実践してくれるだろうとお話しました。

最後に、私事で恐縮ですが、この会報が発行される頃には定年で退職しております。平成元年から4年間、そして教職最後の2年間本校に勤務させていただき、同窓生の皆様にお世話になりましたことに厚く御礼申し上げます。



## ご挨拶

同窓会長 浜田 敏

皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より同窓会に対するご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

本校は昨年10月29日に創立130周年を迎えました。大変な慶事であり、まことに喜びに堪えないところで。ご来賓各位、関係各位のご列席のもと創立記念式典、記念講演、記念祝賀会を盛大に開催致しました。

本校創立130周年事業も順調に終了致しました。ご協力をいただきました皆様に心から御礼を申し上げます。生徒参加型の山形東高らしい文化的教育的事業を行うことをコンセプトにしましたので、とりわけ生徒にとって意義のあるものになればよいと思っていますところ。

記念事業は以下の5つの事業です。

- 1「東日本大震災と山形東高の生徒、同窓生の記録の作成と出版」
- 2「記念コンサート、上記の大震災の記録の朗読会そしてアーティストと生徒の交流の会」
- 3「山東歴史資料の整理、保存、展示の事業」
- 4「西校門の周辺の整備事業」
- 5「山形東高奨学会への寄附」

山形県唯一の中学校として明治17年創設された本校は、幾多の変遷を重ね、幾多の困難を乗り越えて歴史を刻み続けております。

130年にわたる歴史の中で先達により積み上げられた伝統、文化を思うとき、またそのご労苦と浩然の気概に思いを致す時、深い崇敬の念を禁じ得ないものがあります。

130年の歴史においては、人、社会、思想、教育の制度と内容、本校の規模と構成などほとんど総てが大きく変化するに至っております。生徒の気質も校風も相当に変わりつつあります。

この中で本校は、「文武両道」「質実剛健」「自学自習」の校是を柱に山東150年、200年に向けて確かな歩みを続けること、そしてさらに圧倒的な存在感を以て有為な人材を各界に輩出していくことが期待されます。

いつの時代においても本校を支えてきたのは先見の明をもつ優秀な歴代校長をはじめとする教職員の皆様の熱意とたゆまぬ努力、地域、本校卒業生などの関係各位のご協力とご尽力、とりわけ同窓生の母校愛であります。皆様の一層のご支援を心からお願い申し上げます。

結びに本校の益々のご隆盛と皆様のご健勝、ご発展を祈念いたしまして、ご挨拶と致します。

## 平成26年度 松田杯等四賞

## 《松田杯》フェンシング部

平成26年度の主な成績

|                |                 |       |
|----------------|-----------------|-------|
| 県高校総体          | 男子学校対抗          | 優勝    |
|                | (インターハイ、東北大会出場) |       |
|                | 女子学校対抗          | 第3位   |
| 東北高校総体         | 男子学校対抗          | 第3位   |
| 全国高校総体(インターハイ) |                 |       |
|                | 男子学校対抗          | 2回戦敗退 |

## 《鈴木杯》門脇璃子(フェンシング部)

平成26年度の主な成績

|                |          |       |
|----------------|----------|-------|
| 県高校総体          | 女子個人サーブル | 優勝    |
| 東北高校選手権        | 女子個人サーブル | 優勝    |
| 全国高校総体(インターハイ) |          |       |
|                | 女子個人サーブル | ベスト32 |

平成25年度の主な成績

|                |          |       |
|----------------|----------|-------|
| 県高校総体          | 女子個人フルーレ | 準優勝   |
|                | 女子個人サーブル | 優勝    |
| 東北高校選手権        | 女子個人サーブル | 3位    |
| 全国高校総体(インターハイ) |          |       |
|                | 女子個人フルーレ | ベスト64 |
|                | 女子個人サーブル | ベスト32 |
| 東北総体           | 少年女子団体   | 2位    |
| 国民体育大会         | 少年女子団体   | 3位    |
| 県新人大会          | 女子個人フルーレ | 優勝    |
|                | 女子個人サーブル | 優勝    |

JOCジュニアオリンピック・カップ・フェンシング大会

カデ部門(17歳未満) 女子サーブル 第4位

平成24年度の主な成績

県新人大会 女子個人サーブル 優勝

JOCジュニアオリンピック・カップ・フェンシング大会

カデ部門(17歳未満) 女子サーブル 第4位

## 《矢野杯》演劇部

平成26年度の主な成績

平成25年度 山形県高校演劇合同発表会

最優秀賞「マホロスの夜」

山形県高校演劇合同発表会 創作脚本賞 笹原冴瑛子

東北高校演劇大会 優良賞

東北高校演劇大会 創作脚本賞 笹原冴瑛子

## 《駒草杯》笹原冴瑛子(文芸部・演劇部)

平成26年度の主な成績

|                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| 第29回全国高等学校文芸コンクール詩部門     | 優秀賞                 |
| 第29回全国高等学校文芸コンクール文芸評論部門  | 入賞                  |
| 平成26年度山形県高校総合文化祭文芸部門短歌部門 | 総合文化祭賞              |
| 平成26年度山形県高校総合文化祭文芸部門散文部門 | 高文連賞                |
| 平成26年度山形県高校総合文化祭文芸部門短歌部門 | 高文連賞                |
| 第13回山形県高校文芸コンクール短歌部門     | 最優秀(高総文祭と連動)        |
| 第13回山形県高校文芸コンクール短歌部門     | 優秀(高総文祭と連動)         |
| 第13回山形県高校文芸コンクール散文部門     | 優秀(高総文祭と連動)         |
| 第13回山形県高校文芸コンクール散文部門     | 佳作                  |
| 第13回山形県高校文芸コンクール詩部門      | 佳作                  |
| 平成25年度 県高校演劇合同発表会        | 最優秀賞                |
|                          | 創作脚本賞 笹原冴瑛子「マホロスの夜」 |

## 体育・文化活動総況

平成26年度の体育活動、文化活動における山東生の活躍ぶりを紹介いたします。

県高校総合体育大会では、フェンシング部が男子団体で25年ぶりに優勝したほか、男子エペで五十嵐滉介選手、男子サーブルとフルーレで小林潤一選手、女子エペで澁谷亜香里選手、女子サーブルで門脇璃子選手が優勝し、インターハイへの出場を果たしました。また、テニス男子団体及びハンドボール女子のほか、陸上と水泳の多くの種目で東北大会への出場権を獲得しました。さらに、山岳男子団体が2位、卓球女子団体が3位に輝きました。神奈川県で開催されたインターハイでは小林潤一選手が男子サーブルで第7位という立派な成績を収めました。

一方、文化活動においては、茨城県で開催された全国高校総合文化祭に、囲碁、将棋、新聞、文芸、自然科学の5部門に参加しました。また、放送委員会が2部門でNHK杯全国高校放送コンテストに出場しています。さらに、文芸部の笹原冴瑛子さんが全国高校文芸コンクールにおいて、優秀賞を受賞しました。

新人に切り替わってからは、県新人大会において、フェンシングの男女団体が2位、ソフトテニスの男子団体及び男子ハンドボールで3位に輝きました。また個人でも、フェンシングの山崎匠選手が男子フルーレとサーブルで、奥山祐亮選手が男子エペで優勝したほか、体操の柴田健久選手が個人総合で、なぎなたの寺澤裕夏選手が個人試合で優勝しました。文化部では、

囲碁・将棋部が県大会を勝ち抜き、中でも松田梢さんが東北高校将棋新人大会で2位となる活躍をしてくれました。

この他にも紙面の都合でここに書き切れない活躍が多々あります。引き続き次年度も、スポーツ・文化・その他の諸活動において山東生の活躍が大いに期待されるところです。

## 職員動向

本校に係る平成25年度末人事異動を御報告いたします。転出された皆様の御尽力に心から感謝申し上げますとともに、益々の御健勝を御祈念申し上げます。また、転入された皆様には、本校の更なる発展のために御活躍くださるよう御期待申し上げます。

## 《転出者》(敬称略)

|      |           |          |
|------|-----------|----------|
| 東海林聡 | (事務部長・2年) | 県企画振興部へ  |
| 柏倉昭夫 | (教頭・1年)   | 県教育庁へ    |
| 渡部和行 | (数学・7年)   | 県教育センターへ |
| 名和生公 | (音楽・11年)  | ご退職      |
| 会田和美 | (美術・1年)   | 村山産業高校へ  |
| 佐藤英司 | (英語・12年)  | 県教育庁へ    |

## 《転入者》(敬称略)

|       |        |          |
|-------|--------|----------|
| 北川実   | (事務部長) | 県立図書館より  |
| 須貝英彦  | (教頭)   | 県教育庁より   |
| 大山建一  | (数学)   | 寒河江高校より  |
| 奥山隆男  | (数学)   | 左沢高校より   |
| 鈴木奈津子 | (音楽)   | 東根工業高校より |
| 布施弘好  | (美術)   | 鶴岡中央高校より |
| 小野雅仁  | (英語)   | 長井工業高校より |



# 創立130周年 記念式典 記念講演

東京大学元総長・同大学名誉教授の佐々木毅氏より、「生きることと学ぶこと～歴史と社会の交錯の中で～」と題してご講演を頂きました。その一部をご紹介します。

本日は、山形県立山形東高等学校創立130周年記念講演にお招き頂きまして、誠にありがとうございます。本日は大変、見方によりましては哲学的な話をさせて頂くこととなりますが、皆さんそれぞれにこれからの将来の進路をお考えのことかと思います。

## ■「学ぶ」ということと職業

「学ぶ」ことの形態には、手本があり、答えがあって、とにかくそれを覚える、知るという段階がまずあります。その少し先に、学んだことを理解するという段階が来ます。特定の領域について理解する能力が高いと、専門家だということになります。しかし、そこで終わりでしょうか。機械的に答えを出すのではなく、色々な事情なり、そもそも自分の判断の基準なりについて、もう一度思いを巡らす。そうすると、悩むわけですね。良心的であるほど、悩ましいことも起こる訳で、そこから、「今までの専門的な知識よりももっと視野を広げて解答を見出そうと努力する」という学び方が出てきます。さらにその後には、「全体をもう一度考え直す」ということも起こるでしょう。このような過程は、我々が生きていく中で多かれ少なかれ顔を覗かせる、「学ぶ」という活動の継続性です。我々が生きるということは、色々な課題に直面し、それを乗り越えていくということとして、その意味で言えば、九九や漢字を

勉強するという「学ぶ」ことの奥に、生きている限りずっと続く「学ぶ」という活動があると感じます。

## ■「学ぶ」の定義

「人間とは何か」というのは、色々な定義がありますね。私は、「人間とは、選択する動物である」と思っています。選ぶ取ることが、人間には最後まで付きまとう。これは、非常に俗っぽい意味において、人間の自由というものの一つの表れでしょう。そして、選ぶ取のための前提に「学ぶ」ことがあるとすれば、選ぶ取りながら生きていく人間の姿は、「学ぶ」という行為を必ず伴いつつ進行すると考えられます。

## ■「学ぶ」と社会の関わり

もっとと具体論で言うと、それぞれの人は、歴史の中で生きていきます。更に言えば、一定の社会、一定の家庭の中に生まれ落ちる訳で、本人のコントロールが及ばない領域に「投げ込まれる」という表現の方が正しいのかも知れません。我々も、たまたま一定の時代に生まれました。その中で見通しがあるでもなく生きているうちに、一定の生き方をしてきたと、これだけのことです。この歴史や社会と、我々の人生とは、無関係に語るわけにはいきません。例えば、「学ぶ」ことについて書かれた福沢諭吉の『学問のすゝめ』がなぜベストセラーになったのかと言えば、やはりその時代に生きている人達の琴線に、社会的ニーズに触れたからだと思います。四民平等になり、今までは生まれによって結果が決まっていたのが、「よーいドン！」で競争が始まる時代に入る。ただし、勉強したかしないかによって、実態は雲泥の差です。そのようなことが、『学問のすゝめ』の冒頭にありますね。これは、我々が読んでも何の衝撃も受けないのですが、徳川幕府が終わった直後の人々にとっては、物凄くショッキングなメッセージだったと思います。「それで、あなたはどうするんですか？」と問いかけられてくる訳です。多くの人が、自分が生きるということと、「学ぶ」ということとの不可分の関係を、いきなり正面から投げかけられた。人間の社会的な役割を決める有力な基準の一つとして登場してきたのが、「学ぶ」能力と、それによって得られる知識です。これは、過去三世紀余りの歴史が示している一つのトレンドです。長所（メリット）を持った人が高く評価されることを、メリトクラシーといいます。立身出世主義のようですが、身分制が終わった後の社会において、知識、あるいは、新しい知識を獲得する意欲と能力の高い人に対する評価が、大変重要な意味を持つようになったということは、間違いない事実です。我々も依然としてその大きな流れの中で生きているということは、改めて述べるまでもありません。この問題については福沢諭吉の時代と変わっていないとも言えますが、社会のありさまはどんどん変わっています。日本でも、必要とされる能力は同じではないでしょう。その辺りをどう考えるかは、福沢諭吉ではなく、皆さんの課題です。

## ■年配者の役割

一つ、若い方にはあまりピンと来ないところを



挙げておきますと、「人間が長生きするようになった」というのは、非常に大きなファクターです。

社会保障制度も、そんなに長生きすると思わないので作ったのではないかと想像していますが、平均寿命が長くなったことはおめでたいことです。例えば「六十歳で定年になって、その後の時間が大変長いと、どうすればいいのか」という話は、他人事ではありません。私なども既にその年齢に入っているから特にそう思うのですが、私は定年から先のことはからっきし考えていませんでした。しかし、「まあ年金が面倒を見てくれるでしょう」と言っているだけでいいのでしょうか。

このことは、今の若い方にはまだ分らないかも知れませんが、大事な問題だと思っています。そして、人口における六十五歳以上の人達の比率が大きくなってきますから、この人達が、国民が払った税金の恩恵を受けるだけでなく、少しは税金を払うような人に変わってもらわないと、若い世代は大変だという議論になる訳です。

ですから、我々の近くでも多くの方が、「現役のタックスペイヤー（税金を払う人）をいかに長く続けるかが、これからの日本人には特に必要だ」と議論しています。「一つの職業に就いて、そこで人生は終わりだ」というのは、やはり人生がせいぜい六十五～七十年であった時代の発想ではないでしょうか。八十歳まで生きるのであれば、それでは済みません。「もう一つ二つ、家族に迷惑をかけないような形で、世の中、あるいは自分のために、何かをしたい」と考えるのが常識ではないか、という風に頭を切り替えないといけないのではないのでしょうか。

それで、若い方々に対して、例えば「選挙の投票率が低いからもっと行きなさいよ」などと年嵩の者が言うのもいいのですが、実は若い方も、我々が若い頃に比べると、物凄く色々なことを考えなければならなくなっています。あるいは、ひと昔前ほど単純な発想ではどうにもならない時代に入ってきました。

その意味で、若い人も頭の中を常に活性化し、「学ぶ」姿勢を持ち続けなければいけません。実はそれは、年配者も同様です。あるいは、『「学ぶ」意欲はもう終わった』と思っている人に「もう一回頑張ろう」という気持ちを持ってもらわないといけない、という問題があると思います。

とかく年配者の行動で一番嫌われるのは昔の自慢話をするのですが、それだけではなく、何か若い人と一緒に取り組んだり、「直接的な利害を超えて、こういうことをしてみよう」、「体が動く間は、こういうことをしてみたい」といった話をしたりすることが必要な時代に、日本は入っているのではないのでしょうか。

ですから、「若い人は今までの世代が考えなかったことを考えなければいけない」という結論ではなく、年配の世代は年配の世代なりに、「今まではこれで良いと思っていたが、もっとこういうことをしなければ、若い世代に申し訳ない」ということも含めて、頭を切り替えることが必要だと思います。

ですから、若い人達も年配の人達も、「学ぶ」と

はどういうことを考えなければならない状況に、日本はあるのです。

ご存じのように、韓国や台湾などは、日本以上に急速に少子高齢化します。日本が今先頭を走っていますが、他の国に比べて、安定的に社会が推移した時代が長く、時間的な余裕があったと思います。ということは、そこが一種の精神的なダムになり、色々なアイデアが新たに出てくる余地がより多くあると期待されているのです。

ですから、若い人だけでなく、年配者ももう少し何かしたらどうだという話になります。年を取るとグローバルは無理ですから、ローカルになると思うのですが、それを中心に何かできることがないか、そして、できれば、若い人達と互いに努力する社会を展開することによって、人口減少にであれ、他の困難な問題にであれ、少しでも力を加える、あるいは、自分達の力量を増やすことができないだろうかという状況に、日本はあると思います。ですから、皆さん方のお父さんお母さんよりも、お祖父さんお祖母さんと議論する方が大変興味深いと、個人的には思います。

#### ■常に世界を意識して

先程申しましたように、今の七十～八十代は、何もなくなった日本を子供の頃に見ています。ですから、この人達は、意外とあっけらかんとした一面を持っています。

彼らは、何も無いところから、これだけの豊かな社会を作りました。お金がなく、物がなく、あるのは人間だけでした。ただ、私の記憶では、戦後の日本を作った世代の、少なくとも上の方の人達の知的水準は、間違いなく世界でもトップクラスでした。私などはすっかり劣等感に陥りかねない状況でした。人間的なポテンシャルは物凄く高かったと思います。それが少なくとも原因の一つになって、奇跡と言われるような戦後の復興を成し遂げたと、私は改めてつくづくと思い返しています。

そういうことも含めて、若い皆さんには、なかなか難しい時代ですが、できるだけアンテナを張り巡らして、世の中の動向を長期間見ることが大事です。ある日突然とんでもないニュースがあったからといって、いきなりそれに飛びついて、だいたい間違えます。そうではなく、「学ぶ」癖をつけることが、非常に大事です。それは年を取ってからも必ず活きます。若い時にそういう癖をつけなかった人が、年配者になってから急に始めようとしても、なかなか辛いものがあります。

若い時に「学ぶ」という精神的なトレーニングをすることは、非常に大きな財産です。身に着けたそれは、人生の何かの時に、新たな形で展開することができます。考え続ける人が多ければ多いほど、色々な議論が生まれ、色々まずいことも起こるかも知れませんが、社会全体の活性化には、必ずプラスになるのではないかと思います。

そういうことで、「学ぶ」ということと、皆さんが今位置している歴史、あるいは状況について、拙い意見を述べさせて頂きました。



## 体 育 部

母 校 近 況

## 文 化 部

平成26年度は、生徒達の頑張りによって多くの部が各種大会で好成績を収めてくれました。その中の主な成績を御報告します。

## ■ 全国高校総体

|        |        |     |
|--------|--------|-----|
| フェンシング | 男子団体   | 出 場 |
|        | 男子サーブル | 第7位 |
|        | 男子フルーレ | 出場  |
|        | 男子エペ   | 出場  |
|        | 女子サーブル | 出場  |
|        | 女子エペ   | 出場  |

## ■ 全国高校選抜大会

|      |      |     |
|------|------|-----|
| なぎなた | 個人試合 | 出 場 |
|------|------|-----|

## ■ 東北高校総体

|        |           |     |
|--------|-----------|-----|
| フェンシング | 男子団体      | 第3位 |
|        | 男子サーブル    | 第3位 |
|        | 男子エペ      | 第5位 |
|        | 男子サーブル    | 第7位 |
|        | 女子サーブル    | 第1位 |
|        | 男子100M平泳ぎ | 第4位 |

## 水泳

|           |           |     |
|-----------|-----------|-----|
| ■ 東北新人大大会 | 男子200M平泳ぎ | 第5位 |
| 水泳        | 男子100M平泳ぎ | 第7位 |
| 陸上競技      | 女子100m    | 第5位 |
|           | 女子200m    | 第6位 |

## ■ 県高校総体

|        |        |     |
|--------|--------|-----|
| フェンシング | 男子団体   | 第1位 |
|        | 男子サーブル | 第1位 |
|        | 男子エペ   | 第1位 |
|        | 女子サーブル | 第1位 |
|        | 女子エペ   | 第1位 |
|        | 男子団体   | 第2位 |
|        | 男子団体   | 第2位 |

## テニス

|    |      |     |
|----|------|-----|
| 山岳 | 男子団体 | 第2位 |
|----|------|-----|

## ハンドボール

|        |    |     |
|--------|----|-----|
| フェンシング | 女子 | 第2位 |
|--------|----|-----|

|  |        |     |
|--|--------|-----|
|  | 男子フルーレ | 第2位 |
|--|--------|-----|

|  |      |     |
|--|------|-----|
|  | 男子エペ | 第2位 |
|--|------|-----|

|  |        |     |
|--|--------|-----|
|  | 女子サーブル | 第2位 |
|--|--------|-----|

|  |      |     |
|--|------|-----|
|  | 女子エペ | 第2位 |
|--|------|-----|

|      |        |     |
|------|--------|-----|
| 陸上競技 | 男子400m | 第2位 |
|------|--------|-----|

|  |         |     |
|--|---------|-----|
|  | 男子400mH | 第2位 |
|--|---------|-----|

|        |      |     |
|--------|------|-----|
| フェンシング | 女子団体 | 第3位 |
|--------|------|-----|

|    |      |     |
|----|------|-----|
| 卓球 | 女子団体 | 第3位 |
|----|------|-----|

|        |        |     |
|--------|--------|-----|
| フェンシング | 男子サーブル | 第3位 |
|--------|--------|-----|

|    |        |     |
|----|--------|-----|
| 水泳 | 男子フルーレ | 第3位 |
|----|--------|-----|

|  |           |     |
|--|-----------|-----|
|  | 男子100M平泳ぎ | 第3位 |
|--|-----------|-----|

|  |           |     |
|--|-----------|-----|
|  | 男子200M平泳ぎ | 第3位 |
|--|-----------|-----|

## ■ 県新人大大会

|        |        |     |
|--------|--------|-----|
| フェンシング | 男子フルーレ | 第1位 |
|--------|--------|-----|

|  |        |     |
|--|--------|-----|
|  | 男子サーブル | 第1位 |
|--|--------|-----|

|  |      |     |
|--|------|-----|
|  | 男子エペ | 第1位 |
|--|------|-----|

|      |      |     |
|------|------|-----|
| なぎなた | 個人試合 | 第1位 |
|------|------|-----|

|    |        |     |
|----|--------|-----|
| 体操 | 男子個人総合 | 第1位 |
|----|--------|-----|

|        |      |     |
|--------|------|-----|
| フェンシング | 女子団体 | 第2位 |
|--------|------|-----|

|    |      |     |
|----|------|-----|
| 山岳 | 女子団体 | 第2位 |
|----|------|-----|

|        |        |     |
|--------|--------|-----|
| フェンシング | 女子サーブル | 第2位 |
|--------|--------|-----|

|    |           |     |
|----|-----------|-----|
| 水泳 | 男子200M平泳ぎ | 第2位 |
|----|-----------|-----|

|     |      |     |
|-----|------|-----|
| テニス | 男子団体 | 第3位 |
|-----|------|-----|

|        |      |     |
|--------|------|-----|
| ソフトテニス | 男子団体 | 第3位 |
|--------|------|-----|

|        |    |     |
|--------|----|-----|
| ハンドボール | 男子 | 第3位 |
|--------|----|-----|

|        |        |     |
|--------|--------|-----|
| フェンシング | 男子フルーレ | 第3位 |
|--------|--------|-----|

|    |           |     |
|----|-----------|-----|
| 水泳 | 男子100M平泳ぎ | 第3位 |
|----|-----------|-----|

|  |           |     |
|--|-----------|-----|
|  | 男子200M平泳ぎ | 第3位 |
|--|-----------|-----|

|  |        |     |
|--|--------|-----|
|  | 男子フルーレ | 第3位 |
|--|--------|-----|

|  |           |     |
|--|-----------|-----|
|  | 男子100M平泳ぎ | 第3位 |
|--|-----------|-----|

|  |           |     |
|--|-----------|-----|
|  | 男子200M平泳ぎ | 第3位 |
|--|-----------|-----|

|  |        |     |
|--|--------|-----|
|  | 男子フルーレ | 第3位 |
|--|--------|-----|

|  |           |     |
|--|-----------|-----|
|  | 男子100M平泳ぎ | 第3位 |
|--|-----------|-----|

|  |           |     |
|--|-----------|-----|
|  | 男子200M平泳ぎ | 第3位 |
|--|-----------|-----|

|  |        |     |
|--|--------|-----|
|  | 男子フルーレ | 第3位 |
|--|--------|-----|

|  |           |     |
|--|-----------|-----|
|  | 男子100M平泳ぎ | 第3位 |
|--|-----------|-----|

|  |           |     |
|--|-----------|-----|
|  | 男子200M平泳ぎ | 第3位 |
|--|-----------|-----|

|  |        |     |
|--|--------|-----|
|  | 男子フルーレ | 第3位 |
|--|--------|-----|

|  |           |     |
|--|-----------|-----|
|  | 男子100M平泳ぎ | 第3位 |
|--|-----------|-----|

|  |           |     |
|--|-----------|-----|
|  | 男子200M平泳ぎ | 第3位 |
|--|-----------|-----|

|  |        |     |
|--|--------|-----|
|  | 男子フルーレ | 第3位 |
|--|--------|-----|

|  |           |     |
|--|-----------|-----|
|  | 男子100M平泳ぎ | 第3位 |
|--|-----------|-----|

|  |           |     |
|--|-----------|-----|
|  | 男子200M平泳ぎ | 第3位 |
|--|-----------|-----|

|  |        |     |
|--|--------|-----|
|  | 男子フルーレ | 第3位 |
|--|--------|-----|

|  |           |     |
|--|-----------|-----|
|  | 男子100M平泳ぎ | 第3位 |
|--|-----------|-----|

|  |           |     |
|--|-----------|-----|
|  | 男子200M平泳ぎ | 第3位 |
|--|-----------|-----|

|  |        |     |
|--|--------|-----|
|  | 男子フルーレ | 第3位 |
|--|--------|-----|

平成26年度も実り多き1年でした。各部の主な成績をご報告申し上げます。引き続き同窓会の皆様のご支援をお願い致します。

## ■ 囲碁将棋

## 全国高等学校総合文化祭将棋部門

|      |     |
|------|-----|
| 男子団体 | 出 場 |
|------|-----|

|      |       |    |
|------|-------|----|
| 男子個人 | 森田 一輝 | 出場 |
|------|-------|----|

|      |      |    |
|------|------|----|
| 女子個人 | 松田 梢 | 出場 |
|------|------|----|

|                |      |    |
|----------------|------|----|
| 全国高校文化連盟将棋新人大会 | 松田 梢 | 出場 |
|----------------|------|----|

|      |      |    |
|------|------|----|
| 女子の部 | 松田 梢 | 出場 |
|------|------|----|

|            |      |     |
|------------|------|-----|
| 東北高校将棋新人大会 | 松田 梢 | 第2位 |
|------------|------|-----|

|      |      |    |
|------|------|----|
| 女子の部 | 松田 梢 | 出場 |
|------|------|----|

|      |               |    |
|------|---------------|----|
| 男子の部 | 大井遼・奥山雄介・青柳俊希 | 出場 |
|------|---------------|----|

|           |      |    |
|-----------|------|----|
| 全国高校囲碁選手権 | 男子団体 | 出場 |
|-----------|------|----|

|                 |       |    |
|-----------------|-------|----|
| 全国高等学校総合文化祭囲碁部門 | 男子県団体 | 出場 |
|-----------------|-------|----|

|               |      |    |
|---------------|------|----|
| 東北高等学校囲碁選手権大会 | 男子団体 | 出場 |
|---------------|------|----|

## ■ 文芸

|             |     |       |    |
|-------------|-----|-------|----|
| 全国高等学校総合文化祭 | 詩部門 | 菅井 優衣 | 出場 |
|-------------|-----|-------|----|

|               |     |       |     |
|---------------|-----|-------|-----|
| 全国高等学校文芸コンクール | 詩部門 | 笹原 瑛子 | 優秀賞 |
|---------------|-----|-------|-----|

|  |        |      |    |
|--|--------|------|----|
|  | 文芸評論部門 | 巨 沙樹 | 入賞 |
|--|--------|------|----|

|      |       |    |
|------|-------|----|
| 俳句部門 | 梅村 泰拓 | 出場 |
|------|-------|----|

|               |      |       |    |
|---------------|------|-------|----|
| 高文連北海道・東北文芸大会 | 俳句部門 | 梅村 泰拓 | 出場 |
|---------------|------|-------|----|

## ■ 新聞

|               |     |
|---------------|-----|
| 全国高校新聞年間紙面審査賞 | 奨励賞 |
|---------------|-----|

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 全国高等学校総合文化祭新聞部門 | 文化連盟賞 |
|-----------------|-------|

|            |          |
|------------|----------|
| 県高校新聞コンクール | 優秀賞(第2位) |
|------------|----------|

## ■ 科学

|             |            |    |
|-------------|------------|----|
| 全国高等学校総合文化祭 | 研究発表の部(物理) | 出場 |
|-------------|------------|----|

## ■ 数学

|                  |       |
|------------------|-------|
| 全国数学選手権大会(数学甲子園) | 上位32校 |
|------------------|-------|

|                     |       |    |
|---------------------|-------|----|
| 京都大学「数学の森 in Kyoto」 | 丹野 俊将 | 出場 |
|---------------------|-------|----|

|            |       |      |
|------------|-------|------|
| 山形県数学チャレンジ | 大沼 賢矢 | 最優秀賞 |
|------------|-------|------|

## ■ 演劇

|                |         |
|----------------|---------|
| 山形県高等学校演劇合同発表会 | 優秀賞・第一席 |
|----------------|---------|

## ■ 吹奏楽

|                |    |
|----------------|----|
| 全日本吹奏楽コンクール県大会 | 銅賞 |
|----------------|----|

|                   |    |
|-------------------|----|
| アンサンブルコンテスト村山地区大会 | 金賞 |
|-------------------|----|

|           |    |
|-----------|----|
| サクソフォン5重奏 | 銀賞 |
|-----------|----|

|         |    |
|---------|----|
| フルート3重奏 | 銀賞 |
|---------|----|

|           |    |
|-----------|----|
| クラリネット5重奏 | 銀賞 |
|-----------|----|

## ■ 音楽

|                   |    |
|-------------------|----|
| 全日本合唱コンクール山形県支部大会 | 銀賞 |
|-------------------|----|

|                |  |
|----------------|--|
| 第38回育樹祭式典音楽隊参加 |  |
|----------------|--|

## ■ マンドリン

|              |         |    |
|--------------|---------|----|
| 山形県高等学校総合文化祭 | 器楽管弦楽部門 | 出場 |
|--------------|---------|----|

## ■ 書道

|              |      |      |      |
|--------------|------|------|------|
| 山形県高等学校総合文化祭 | 書道部門 | 渡部 元 | 高文連賞 |
|--------------|------|------|------|

## ■ 家庭

|                    |       |          |
|--------------------|-------|----------|
| 牛乳・乳製品利用料理コンクール県大会 | 西村 優花 | 優秀賞(第2位) |
|--------------------|-------|----------|

## ■ 放送委員会

|             |         |       |     |
|-------------|---------|-------|-----|
| 全校高校放送コンテスト | アナウンス部門 | 佐々木祐理 | 奨励賞 |
|-------------|---------|-------|-----|

|  |             |    |     |
|--|-------------|----|-----|
|  | ラジオドキュメント部門 | 団体 | 奨励賞 |
|--|-------------|----|-----|

|           |             |     |
|-----------|-------------|-----|
| 県高校放送新人大会 | テレビキャンペーン部門 | 第1位 |
|-----------|-------------|-----|

|                  |         |       |    |
|------------------|---------|-------|----|
| 東北高校アナウンス朗読コンテスト | アナウンス部門 | 佐々木祐理 | 出場 |
|------------------|---------|-------|----|

|             |         |       |    |
|-------------|---------|-------|----|
| 東北高校放送コンテスト | アナウンス部門 | 藤城 莉子 | 出場 |
|-------------|---------|-------|----|

|  |             |    |    |
|--|-------------|----|----|
|  | テレビキャンペーン部門 | 団体 | 出場 |
|--|-------------|----|----|

|  |             |    |    |
|--|-------------|----|----|
|  | ラジオキャンペーン部門 | 団体 | 出場 |
|--|-------------|----|----|

## ■ J R C

|                       |             |    |
|-----------------------|-------------|----|
| 青少年赤十字国際交流カンボジア教育支援事業 | 安達 美穂・菅井 里咲 | 参加 |
|-----------------------|-------------|----|

|                     |       |    |
|---------------------|-------|----|
| アジア・大洋州地域青少年赤十字国際交流 | 安達 美穂 | 参加 |
|---------------------|-------|----|

## 第65回卒業会名

く とう かい  
勲 東 会

## 【命名の由来】

創立一三〇周年に門出を迎え、母校の栄えある伝統に名を連ねた誇りと、悠久の歴史の礎となり得た喜びが、我々の胸を満たしている。

羽前の三山と最上川に囲まれた景勝の地で、好学の士が芳樹の苑に集い語り合った日々は、何ものにも代えがたい。共に試練を乗り越える朋友を天祐となし、数多の賢哲・俊秀に薫陶を受けて智徳を備え、その双翼は強さを増した。つねに邁進を続け、ついに結実の時を迎えた。

世々に残さんとする不朽の「勲」に一三〇(いさお)の音を重ね、「未来は東から」の言のごとく、昭昭たる光となって英姿颯爽と理想の天地を拓くことを誓い、ここに「勲東会」と命名する。

(原案者 3年6組 佐藤晴彦)

## おもな大学の合格状況

### 天晶会 (平成 26 年 3 月卒業)

現教育課程 (平成 25 年度) での最後の入試となった。今春の卒業生は現役進学者数 159 名 (68.5%)、うち私立が 43 名、72 名が浪人という結果である。模試の推移では不安もあったが、その都度課題を分析し対処してきた学年である。センター試験の平均点では例年並みであった。特徴として、生徒・保護者からの意見として、「浪人不可」という条件が非常に多い学年でもあった。「浪人したくない」ではなく「できない事情」があるとのことであったが、結果的には再起を期す生徒が多く出た。また、その事情により志望校を変更する生徒もみられた。来春入試より新課程入試に移行することの影響は東北でも、全国的にもさほど顕著ではなかったが、「できない事情」の一つに、これを挙げる生徒・保護者が多いとも学年から聞いていた。

浪人すればよいというわけではなく、浪人してでも入りたいという高い志が欲しい。出願状況についてはこのことも影響したためか、より安全志向になったと考える。東北大は AO II で 1 名、AO III で 11 名、前期試験 28 名で合計 40 名の合格。東大は文系 1 名、理系 4 名の計 5 名。過年度は 3 名で合計 8 名の合格。現役二桁は厳しかった。京大については、文系 2 名である。一橋大 1 名、東工大は 1 名の合格。医学部医学科については東北大 1 名、山形大学 1 名、秋田大学 2 名、新潟大学 1 名、私立で獨協医大 1 名、金沢医大 1 名、帝京大 1 名の合計 8 名であった。過年度は東北大 2 名、山大 1 名、弘前 1 名、秋田 1 名、福島県立 1 名であった。毎年のように記すことであるが、国公立大医学部医学科についてはセンター試験の高得点が必要条件である。また、難関大学・難関学部の志望達成には 1、2 年次の基礎の確立が最も重要である。つまり、日常をいかに大切にするか。文武両道を標榜するにあたり、片方を一方の言い訳にしていないか。将来のキャリアデザインを持っているか。入試環境を取り巻く急激な変化に対応していくためにも再確認することが大切である。

### 平成 25 年度 全大学合格者数(延人数) 単位：人

#### 【国立大学】

| 大 学     | 人 数  |
|---------|------|
| 北 海 道   | 0    |
| 弘 前     | 0    |
| 岩 手     | 0    |
| 東 北     | 文 5  |
|         | 教 4  |
|         | 法 8  |
|         | 経 8  |
|         | 理 2  |
|         | 工 8  |
|         | 農 0  |
|         | 医 1  |
|         | 保 1  |
|         | 歯 1  |
|         | 薬 2  |
|         | 全 40 |
| 宮 城 教 育 | 3    |
| 秋 田     | 3    |

| 大 学     | 人 数 |
|---------|-----|
| 山 形     | 医 1 |
| 全       | 11  |
| 福 島     | 1   |
| 茨 城     | 1   |
| 筑 波     | 2   |
| 埼 玉     | 1   |
| 千 葉     | 3   |
| 東 京 海 洋 | 7   |
| お 茶 の 水 | 2   |
| 東 京     | 文 1 |
|         | 理 4 |
| 計 5     |     |
| 東京外国語   | 2   |
| 東京学芸    | 2   |
| 東京農工    | 1   |

| 大 学     | 人 数 |
|---------|-----|
| 一 橋     | 1   |
| 横 浜 国 立 | 2   |
| 新 潟 大 学 | 19  |
| 富 山     | 1   |
| 金 沢     | 1   |
| 山 梨     | 1   |
| 岐 阜     | 1   |
| 静 岡     | 1   |
| 京 都     | 2   |
| 大 阪     | 1   |

#### 【公立大学】

| 大 学      | 人 数 |
|----------|-----|
| 山形県立保健医療 | 1   |
| 福島県立医科   | 3   |
| 首都大東京    | 4   |
| 静岡県立     | 2   |

#### 【私立大学】

| 大 学     | 人 数 |
|---------|-----|
| 岩 手 医 科 | 7   |
| 東 北 学 院 | 3   |
| 東 北 薬 科 | 4   |
| 東北芸工大   | 4   |
| 青 山 学 院 | 5   |
| 北 里     | 1   |
| 慶 應 義 塾 | 4   |
| 芝 浦 工 業 | 6   |
| 中 央     | 18  |
| 東 京 女 子 | 5   |
| 東 京 農   | 3   |
| 東 京 理 科 | 4   |
| 法 政     | 18  |
| 明 治     | 15  |
| 明 治 学 院 | 3   |
| 立 教     | 9   |

| 大 学   | 人 数 |
|-------|-----|
| 早 稲 田 | 8   |
| 金 沢 医 | 1   |
| 同 志 社 | 3   |
| 立 命 館 | 4   |
| 関 西   | 1   |
| そ の 他 | 39  |

#### 【計】

| 大 学      | 合 計 |
|----------|-----|
| 国 立 大 学  | 115 |
| 公 立 大 学  | 7   |
| 私 立 大 学  | 157 |
| (国公立医学科) | 8   |
| (私立医学科)  | 4   |
| 合 計      | 279 |

全大学の合格者は山形東高校のホームページ (<http://www.yamagatahigashi-hed.jp>) の「進路指導」に掲載しておりますのでそちらをご覧ください。

### 勲東会 (平成 27 年 3 月卒業)

新課程 (数学・理科) 導入の初年度の入試である。3 学年は、1 学年時より「挑戦」を掲げて指導してきた。途中の模試においても第一志望を諦めず、基礎の積み上げ、応用力の強化に取り組んできた。

東北大は、AO III で 8 名、前期試験 28 名で合計 36 名の合格。東大は文系 3 名、理系 2 名の計 5 名。前期現時点 (3/10) での情報として、過年度は 1 名で合計 6 名の合格。現役二桁は厳しかった。京大については、文系 1 名で、過年度は 2 名である。医学部医学科については東北大 1 名、山形大学 8 名、合計 9 名であった。過年度は東北大 2 名、山大 6 名、福島県立 1 名、千葉大 1 名の情報がある。今年は現役の私大医学部合格者は出なかった。(いずれも 3/10 時点)

また、山形大学の地域枠については今後の検証が必要と考える。やはり、国公立大医学部医学科についてはセンター試験の高得点が必要条件であることが痛感される。

平成 27 年度

## 同窓会総会・表彰式・まつり

◆ 日 時：平成 27 年 10 月 16 日 (金)  
総会は午後 5 時 30 分より

◆ 会 場：メトロポリタン山形

◆ 会 費：5,000 円 (予定)  
(チケット購入は各学年の評議員に申し込み下さい。)  
(評議員は同窓会役員欄に記載してあります。)

◆ 当番幹事：天馬会 (山東 28 回)  
雙紀会 (山東 50 回)



## 第60回体育部OB会総会



平成27年2月2日に、約300名の運動部の諸先輩方が山形グランドホテルに集い、体育部OB会総会が盛大に開催されました。出席者は、吹奏楽部と応援団の「突撃のテーマ」に若き日の汗と涙を思い出し、大先輩方の現役時代の活躍に耳を傾け、そして、現役体育部のより一層の活躍を願いつつ、大いに語り合っ親交を深めた2時間でした。当番幹事は陸上競技部とフェンシング部が務めました。

総会では、第51回体育部OB会功労賞受賞者や平成26年度体育部活動状況などが報告され、また、平成26年度決算・平成27年度予算案などが協議され、満場一致で承認されました。そして茂木賢一会長が退任され、4月からの次期会長に森谷寛氏が就くことも決まりました。茂木会長の長年のご苦勞に深く感謝申し上げます。

懇親会では、最初に全員で校歌を斉唱し、次に茂木会長から、現役のより一層の奮闘を期して体育部OB会が支援していくことを約束し、佐竹俊明校長に強化費が贈呈されました。校長からは、平成26年度の東北大会やインターハイ出場部の紹介と、平成27年度の一層の活躍への期待が述べられました。さらに、浜田敏同窓会会長の激励の挨拶に続いて、第51回体育部OB会功労賞受賞者の表彰が行われ、代表して剣道部OBの長澤好光氏からご挨拶をいただきました。その後、次期会長・副会長の紹介がありました。懇親を深めた後、最後に、応援団OBが登壇し、全員で「おお勝利」を高らかに斉唱、万歳三唱を行って閉会しました。なお、次回の当番幹事は水泳部とサッカー部です。

第51回体育部OB会功労賞受賞者は以下の通り(敬称略) 長澤好光・滝口義則(剣道)、加藤好通・丹利彦(陸上競技)、佐藤博(バスケットボール)、渡邊勇治・西谷真一(ソフトテニス)、神保健二(野球)、加藤光哉(山岳)、稲村征夫・庄司明彦・寒河江努(サッカー)、笹原利彦(フェンシング)、渡部和行(学校関係者)

(40回卒フェンシング部 丹野 陽 記)



## 第22回山東文化部OB会

平成26年7月23日(水)、山形グランドホテルに於いて「第22回山東文化部OB会総会」が、浜田敏同窓会長はじめ多くの来賓のご臨席のもと多数の会員が集い盛大に開催された。総会においては、吉田眞一郎会長が議長となり、前年度の事業及び決算報告そして本年度の事業計画と予算が審議され、いずれも満場一致で可決承認されました。

平成5年6月25日第1回総会が開催されてから第20回総会を迎えたのを期に、記念講演は、全国で活躍のOBの方を迎え講演会を開催する事に致しました。今年度は第26回卒・互一会の石澤靖治氏に講演をお願い致しました。氏は現在学習院女子大学学長として、またフジテレビ「めざましどようび」コメンテーターとしてもご活躍しております。演題「国際情勢をどう見るか メディア戦、情報戦としての国際関係」と大変固い演目ではありましたが、東高時代の話や学習院女子大学の学生の話などを交えながら、国際メディア戦の中で日本の現状を分かり易く話していただきました。また互一会の皆様も講演会・懇親会に参加していただきました。

その後、懇親会に移り同窓会長、学校長の挨拶、体育部OB会会長の乾杯で会員同士が和気藹々の懇親を深めました。席上恒例の音楽部による合唱などもあり大いに盛り上がりました。当番幹事でありました音楽部・マンドリン部・吹奏楽部の会員の皆様ありがとうございました。次回第23回総会当番部は、美術部・写真部・園芸部になりますが、多数のOB会員の出席を期待しております。 (幹事長 武田信博 記)





## 母校創立 130 周年記念事業報告

平成24年7月20日に記念事業実行委員会を設立し、目標額3,500万円で募金をお願いしたところ、32,542,892円(達成率91.89%)のご支援をいただきました。預金利息2,310円を加えた収入は32,545,202円で、次のように支出をしました。

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 東日本大震災記録   | 855,588 円    |
| 2. コンサート・朗読会等 | 3,335,626 円  |
| 3. 歴史資料保存展示   | 910,345 円    |
| 4. 西校門周辺整備    | 14,768,372 円 |
| 5. 事業諸費       | 4,386,708 円  |
| 6. 山東奨学会への寄附  | 4,000,000 円  |
| 7. 同窓会積立金へ    | 4,288,563 円  |

なお、7には12月16日行われました実行委員会解散総会や募金者への報告送付費用も含まれております。

会員皆様のご理解とご協力で事業が無事終了できましたことに厚く感謝申し上げます。

(事務局 今野雅行 記)



## 一行会

平成26年総会時、私達山東七回卒業「一行会」会員58名が喜寿の祝を受け、記念品をいただきました。ここに厚くお礼を申し上げます。

入学時の出来事を冠した一行会の面々は前日湯殿山神社でお祓いを受け、拡幅整備された新築西通りに歩みを進め、母校に向かいました。

130周年記念事業の一つ、西通門に完成した時計塔の姿を確かめて校舎に入り、学校長から説明を受けました。百周年の記念講堂では、進路講座の様子などを見せていただいた。その後宿泊先の蔵王温泉ヴァルトヴェルグ(ホテル)に向かった。

卒業以来はじめての顔や四人の女性を含む60名の宴は遅くまで続いた。翌日元気組はゴルフへと出発。多くの会員はバスで県食糧k.k.の精米工場を見学、次いでシベールの菓子工房見学を終えて昼食。実はこの二つの会社は私達会員の弟君が代表を務める会社で少々無理が利いた。午後は上山の茂吉記念館を訪れて山形の観光終了。駅で一旦散会、夕方からの総会・まつりに再度集合した。

最後に130周年の節目の年に喜寿の祝を受けたことと共に、伝統ある母校に学んだ誇りと感動を忘れることなく、同窓会、母校の益々の発展と御活躍を祈念してお礼のことばと致します。

(真田宗厚 記)

## 平成26年度 予算執行状況

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 1 月 31 日)

## 収 入 の 部

(単位：円)

| 科 目   | 予 算 額     |           |           | 収入額       | 摘 要                   |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------------------|
|       | 当 初       | 補 正       | 計         |           |                       |
| 維持会費  | 7,000,000 | △ 197,000 | 6,803,000 | 5,503,000 | 郵貯 1,700 人、コンビニ 758 人 |
| 入 会 金 | 696,000   | 0         | 696,000   | 696,000   | 3,000 円× 232 名        |
| 積立金より | 900,000   | 0         | 900,000   | 900,000   |                       |
| 繰 越 金 | 66,320    | 0         | 66,320    | 66,320    |                       |
| 雑 収 入 | 480       | 0         | 480       | 480       | 利子                    |
| 合 計   | 8,662,800 | △ 197,000 | 8,465,800 | 7,165,800 |                       |

## 支 出 の 部

(単位：円)

| 科 目     | 予 算 額     |           |           | 支出額       | 摘 要               |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------------|
|         | 当 初       | 補 正       | 計         |           |                   |
| 総 会 費   | 110,000   | △ 28,000  | 82,000    | 81,156    | 資料印刷・封筒・案内送付      |
| 会 議 費   | 600,000   | 0         | 600,000   | 386,646   | 役員会・評議員会          |
| 表 彰 費   | 550,000   | △ 65,000  | 485,000   | 482,070   | 表彰状・記念品等          |
| 会報発行費   | 950,000   | 0         | 950,000   | 0         | 16,500 部          |
| 通 信 費   | 2,150,000 | 0         | 2,150,000 | 2,132,904 | 会報送付・NTT・切手・葉書    |
| 慶 弔 費   | 200,000   | △ 60,000  | 140,000   | 56,578    | 弔電・香典・祝電・餞別       |
| 諸 手 当   | 50,000    | 0         | 50,000    | 50,000    | 事務局員              |
| 生徒活動援助費 | 200,000   | 37,000    | 237,000   | 166,816   | 全国大会出場激励お祝い等      |
| 奨 励 費   | 30,000    | △ 5,000   | 25,000    | 0         | 同窓会賞副賞・ペナント       |
| 連 絡 費   | 850,000   | △ 60,000  | 790,000   | 759,378   | 支部総会お祝い・若手学年支援・旅費 |
| 資料整備費   | 100,000   | 0         | 100,000   | 96,000    | 校史資料整理            |
| 事 務 費   | 1,400,000 | 0         | 1,400,000 | 1,140,099 | 事務局運営費・一般事務費      |
| 寄 付 金   | 1,000,000 | 0         | 1,000,000 | 1,000,000 | 山東教育後援会へ          |
| 積 立 金   | 100,000   | △ 100,000 | 0         | 0         |                   |
| 振込料金    | 300,000   | △ 8,000   | 292,000   | 202,250   | ゆうちょ銀行、コンビニ       |
| 予 備 費   | 72,800    | 92,000    | 164,800   | 0         |                   |
| 合 計     | 8,662,800 | △ 197,000 | 8,465,800 | 6,553,897 |                   |

※収入の維持会費は振込料金を含めた金額である。

## 平成27年度 予算(案)

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

## 収 入 の 部

(単位：円)

| 科 目   | 本 年 度<br>予 算 額 | 前 年 度<br>予 算 額 | 比較増減      | 摘 要            |
|-------|----------------|----------------|-----------|----------------|
| 維持会費  | 7,000,000      | 7,000,000      | 0         |                |
| 入 会 金 | 696,000        | 696,000        | 0         | 3,000 円× 232 名 |
| 積立金より | 750,000        | 900,000        | △ 150,000 |                |
| 繰 越 金 | 200,000        | 66,320         | 133,680   |                |
| 雑 収 入 | 400            | 480            | △ 80      |                |
| 合 計   | 8,646,400      | 8,662,800      | △ 16,400  |                |

## 支 出 の 部

(単位：円)

| 科 目     | 本 年 度<br>予 算 額 | 前 年 度<br>予 算 額 | 比較増減     | 摘 要               |
|---------|----------------|----------------|----------|-------------------|
| 総 会 費   | 110,000        | 110,000        | 0        | 資料印刷・封筒・案内送付      |
| 会 議 費   | 600,000        | 600,000        | 0        | 役員会・評議員会          |
| 表 彰 費   | 550,000        | 550,000        | 0        | 表彰状・記念品           |
| 会報発行費   | 950,000        | 950,000        | 0        | 16,500 部          |
| 通 信 費   | 2,150,000      | 2,150,000      | 0        | 会報送付・NTT・切手・葉書    |
| 慶 弔 費   | 200,000        | 200,000        | 0        | 弔電・香典・祝電・餞別       |
| 諸 手 当   | 50,000         | 50,000         | 0        | 事務局員              |
| 生徒活動援助費 | 200,000        | 200,000        | 0        | 全国大会出場激励お祝い       |
| 奨 励 費   | 30,000         | 30,000         | 0        | 同窓会賞副賞・賞状筆耕       |
| 連 絡 費   | 850,000        | 850,000        | 0        | 支部総会お祝い・若手学年支援・旅費 |
| 資料整備費   | 50,000         | 100,000        | △ 50,000 | 校史資料整備            |
| 事 務 費   | 1,400,000      | 1,400,000      | 0        | 事務局運営費・一般事務費      |
| 寄 付 金   | 1,000,000      | 1,000,000      | 0        | 山東教育後援会へ          |
| 積 立 金   | 100,000        | 100,000        | 0        |                   |
| 振込料金    | 300,000        | 300,000        | 0        | ゆうちょ銀行、コンビニ       |
| 予 備 費   | 106,400        | 72,800         | 33,600   |                   |
| 合 計     | 8,646,400      | 8,662,800      | △ 16,400 |                   |

※収入の維持会費は振込料金を含めた金額である。

## 山 東 奨 学 会

平成26年

- 2 月 19 日 第 65 回評議員会  
第 52 回理事会
- 3 月 19 日 奨学生審査会
- 3 月 26 日 奨学金贈呈式  
2 名に贈呈
- 5 月 13 日 公益財団法人第 1 回理事会  
平成 25 年度事業報告  
平成 25 年度収支決算  
平成 26 年度予算案
- 6 月 3 日 公益財団法人第 1 回評議員会  
平成 25 年度事業報告  
平成 25 年度収支決算  
平成 26 年度予算案  
評議員の選任

## 慶 祝

(同窓会報 66 号掲載以降～平成 27 年 2 月 19 日まで)

- 平成 26 年
- 4 月 29 日 旭日大綬章  
鹿野 道彦氏 (山東 10 回)
- 4 月 29 日 瑞宝双光章  
大串喜久雄氏 (山東 5 回)
- 7 月 18 日 瑞宝小綬章  
広谷 忠二氏 (山中 58 回)
- 11 月 3 日 瑞宝小綬章  
横山 紘一氏 (山東 8 回)
- 11 月 3 日 旭日双光章  
佐藤 泰司氏 (山東 12 回)
- 11 月 3 日 瑞宝双光章  
橋本 隆雄氏 (山東 5 回)
- 11 月 3 日 瑞宝双光章  
山口 光氏 (山東 12 回)
- 11 月 6 日 学校保健文部科学大臣表彰  
青山 新吾氏 (山東 1 回)
- 11 月 28 日 教育者文部科学大臣表彰  
佐竹 俊明氏 (山東 23 回)
- 11 月 28 日 山形県教育功労者表彰  
鈴木 漠氏 (山東 15 回)

- 12 月 11 日 山形市三浦記念賞  
清野 伸昭氏 (山東 11 回)
- 12 月 11 日 山形市三浦記念賞  
吉田眞一郎氏 (山東 17 回)
- 12 月 26 日 瑞宝双光章  
武田 陽氏 (山東 6 回)

## 篤 志 寄 付

(同窓会報 66 号掲載以降～平成 27 年 2 月 19 日まで)

平成 26 年

- 5 月 16 日 図書購入費 10 万円  
山形市役所山東会
- 7 月 24 日 金馬会記念こけし、写真 3 枚  
遠藤澄男氏
- 12 月 6 日 130 周年記念事業費 10 万円  
山辺支部

平成 27 年

- 2 月 19 日 教育奨励費 20 万円  
山形県庁東高会  
(部活動費 10 万円、図書購入費 5 万円、奨学会基金 5 万円)



## 平成27年度 同窓会役員

## 役員

|     |        |       |
|-----|--------|-------|
| 会長  | 浜田敏    | 山東17回 |
| 副会長 | 佐藤松兵衛  | 山東19回 |
| "   | 矢野秀弥   | 山東21回 |
| "   | 鈴木隆一   | 山東23回 |
| 幹事  | 桂木宣均   | 山東29回 |
| 副幹事 | 高井嶋清彦  | 山東34回 |
| "   | 井上聡子   | 山東36回 |
| 幹事  | 川田みさ子  | 山東18回 |
| "   | 高橋勝幸   | 山東30回 |
| "   | 永井毅    | 山東35回 |
| "   | 清野寿啓   | 山東38回 |
| "   | 長谷川浩一郎 | 山東39回 |
| "   | 中村祥之介  | 山東41回 |
| "   | 伊藤陽介   | 山東47回 |
| "   | 坂部経洋   | 山東51回 |
| "   | 丹野茉依   | 山東53回 |
| 監事  | 長谷川明美  | 山東17回 |
| "   | 伊勢和正   | 山東25回 |

## 顧問

|       |        |
|-------|--------|
| 鈴木木寛  | 第9代会長  |
| 結城章夫  | 元山形大学長 |
| 遠藤來二  | 第29代校長 |
| 國分三昭  | 第31代校長 |
| 日野正   | 第33代校長 |
| 木村幸   | 第34代校長 |
| 山川博史  | 第35代校長 |
| 佐藤敏彦  | 第36代校長 |
| 伊藤和夫  | 第37代校長 |
| 勝見英一朗 | 第38代校長 |
| 相馬周一郎 | 第39代校長 |
| 渡部泰山  | 第40代校長 |
| 柳谷豊彦  | 第41代校長 |
| 佐竹俊明  | 第42代校長 |

## 相談役

|       |         |
|-------|---------|
| 森谷寛   | 体育部OB会長 |
| 吉田眞一郎 | 文化部OB会長 |

## 評議員

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| 山中54回     | 瑞穂  | 村山純一  |
| 山中55回     | 昭南  | 山楽一隆  |
| 山中57回     | 御楯  | 田耕吉   |
| 山中58回(4)  | 銀河  | 西村久男  |
| 山中59・60回  | 太平  | 佐藤良助  |
| 山中61・一高1回 | 六一  | 志村宗孝  |
| 山中62・一高2回 | ふたば | 結城雅度  |
| 山東1回      | 東一  | 木村雅一  |
| 山東2回      | 東友  | 登坂光雄  |
| 山東3回      | 東三  | 伊藤貞夫  |
| 山東4回      | 東四  | 大江健夫  |
| 山東5回      | 古稀  | 大小喜久雄 |
| 山東6回      | 六翠  | 山松公博  |
| 山東7回      | 一行  | 真田宗厚  |
| 山東8回      | 東八  | 深瀬智   |
| 山東9回      | 東鳩  | 伊藤光一郎 |
| 山東10回     | 東濤  | 逸見誠司  |
| 山東11回     | 東土  | 斎藤啓一  |
| 山東12回     | 東睦  | 井上伸彦  |
| 山東13回     | 三山  | 秋葉正男  |
| 山東14回     | 龍雲  | 大場敏郎  |
| 山東15回     | 笑龍  | 斎藤一一夫 |
| 山東16回     | 竹馬  | 多田仁   |
| 山東17回     | 六七  | 秋保俊夫  |
| 山東18回     | 東哉  | 伊藤義則  |
| 山東19回     | 鵬雲  | 滝口誠毅  |
| 山東20回     | 翠巒  | 千歳裕一  |
| 山東21回     | 四六  | 後藤築信  |
| 山東22回     | 主一  | 志佐高橋篤 |
| 山東23回     | 志也  | 高橋口祐三 |
| 山東24回     | 東翼  | 斎藤修之  |
| 山東25回     | 九重  | 野口三宏  |
| 山東26回     | 互一  | 高橋一   |
| 山東27回     | 東紋  | 伊藤袋   |
| 山東28回     | 天馬  |       |
| 山東29回     | 共一  |       |

|       |     |    |    |    |    |
|-------|-----|----|----|----|----|
| 山東30回 | 東翔  | 浅児 | 黄玉 | 敬克 | 之也 |
| 山東31回 | 五六  | 児  | 玉  | 克  | 也  |
| 山東32回 | 槌音  | 鎌  | 水  | 功  | 泰  |
| 山東33回 | 継世  | 村  | 形  | 弘  | 也  |
| 山東34回 | 双鬘  | 小  | 林  | 直  | 樹  |
| 山東35回 | 百東  | 荒  | 秀  | 秀  | 賀  |
| 山東36回 | 慧瑠  | 赤  | 木  | 芳  | 寿  |
| 山東37回 | 鴻紀  | 青  | 木  | 秀  | 之  |
| 山東38回 | 東龍  | 小  | 嶋  | 寛  | 之  |
| 山東39回 | 魁成  | 鈴  | 木  | 清  | 晃  |
| 山東40回 | 東駿  | 高  | 橋  | 祐  | 史  |
| 山東41回 | 翔洋  | 吉  | 村  | 和  | 武  |
| 山東42回 | 志成  | 高  | 原  | 謙  | 一  |
| 山東43回 | 東鵬  | 今  | 藤  | 養  | 康  |
| 山東44回 | 東阜  | 進  | 野  | 義  | 悦  |
| 山東45回 | 百珠  | 黒  | 沼  | 芳  | 寛  |
| 山東46回 | 東玲  | 高  | 梨  | 洋  | 樹  |
| 山東47回 | 東凌  | 阿  | 部  | 和  | 平  |
| 山東48回 | 天成  | 峯  | 田  | 一  | 宜  |
| 山東49回 | 東珀  | 丹  | 野  | め  | ぐみ |
| 山東50回 | 雙紀  | 佐  | 竹  | 秀  | 文  |
| 山東51回 | 東暁  | 吉  | 竹  | 昌  | 平  |
| 山東52回 | 東愛  | 太  | 田  | 隆  | 明  |
| 山東53回 | 東魂  | 佐々 | 木  | 健  | 晴  |
| 山東54回 | 東粹  | 中  | 野  | 祥  | 子  |
| 山東55回 | 東節  | 武  | 田  | 弘  | 幸  |
| 山東56回 | 瑞雪  | 中  | 塚  | 大  | 峻  |
| 山東57回 | 和成  | 伊  | 藤  | 大  | 地  |
| 山東58回 | 重友  | 武  | 部  | 龍  | 伸  |
| 山東59回 | 結昇  | 阿  | 高  | 裕  | 海  |
| 山東60回 | 六黎  | 伊  | 藤  | 佑  | 一郎 |
| 山東61回 | 勢翔  | 松  | 永  | 悠  | 希  |
| 山東62回 | 榮繼  | 桂  | 木  | 悠  | 希  |
| 山東63回 | 六三志 | 結  | 城  | 龍  | 馬  |
| 山東64回 | 天晶  |    |    |    |    |
| 山東65回 | 敷東  |    |    |    |    |

## 地域・職域同窓会

| 同窓会名        | 会長・支部長 | 事務                                            | 局                  |
|-------------|--------|-----------------------------------------------|--------------------|
| 山中山東東京同窓会   | 高橋聖    | 〒270-1164 千葉県我孫子市つくし野3-7-106                  | 羽柴茂 03-3837-3381   |
| 山形東高仙台同窓会   | 土田正和   | 〒980-8550 仙台市青葉区本町1-7-1 東北電力(株)内グループ事業推進部 白岩真 | 原田宏哉 022-799-1069  |
| 関西山中山東同窓会   | 菱川道生   | 〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-800 山形県大阪事務所内          | 豊嶋豊和 06-6341-6816  |
| 山中山東東海同窓会   | 海野紘治   | 〒466-0855 名古屋市昭和区川名本町2-9-3                    | 酒井和義 052-761-6320  |
| 栃木県支部       | 塩野操    | 〒321-0141 宇都宮市さつき 1-9-17                      | 武田康夫 028-653-9574  |
| 山形県庁東高会     | 矢口俊雄   | 〒990-8570 山形市松波2-8-1 山形県県土整備部建設企画課            | 清野拓也 023-630-2402  |
| 山形市役所東高会    | 齋藤順治   | 〒990-0047 山形市旅籠町2-3-25 山形市役所防災安全課             | 長澤明彦 023-641-1212  |
| 山形市歯科医師会山東会 | 齋藤利明   | 〒990-2462 山形市深町2-4-14-2                       | 太田貴志 023-644-8636  |
| 酒田山東会       | 三沢英一   | 〒998-0828 酒田市あきほ町659-6                        | 岡田恒弘 0234-26-7771  |
| 田川支部        |        |                                               |                    |
| 最上支部        | 永井俊一   | 〒999-6101 最上郡最上町大字向町618-2                     | 森康夫 0233-43-2255   |
| 尾花沢支部       | 富士盛良   | 〒999-4225 尾花沢市若葉町3-16-20                      | 星川薫 0237-24-1428   |
| 大石田支部       | 織江祐智   | 〒999-4111 北村山郡大石田町大字大石田丁67                    | 戸田昇利 0237-35-2014  |
| 村山支部        | 大山勝太郎  | 〒995-0024 村山市楯岡笛田1-1-10                       | 柴崎友利 0237-55-5770  |
| 東根支部        | 石山泰博   | 〒999-3795 東根市中央1-1-1 東根市役所 財政課                | 森谷健 0237-42-1111   |
| 天童支部        | 森谷英夫   | 〒994-0012 天童市久野本2-6-14                        | 松村澄男 023-654-6798  |
| 河北山東会       | 和田潤一   | 〒999-3511 西村山郡河北町谷地戊81 河北町役場 政策推進課            | 古澤広喜 0237-73-2111  |
| 寒河江支部       | 大久保晴二  | 〒991-0031 寒河江市本町2-6-50                        | 石川隆 0237-84-3138   |
| 朝日支部        | 多田積    | 〒990-1302 西村山郡朝日町玉ノ井甲114                      | 阿部憲明 0237-68-2526  |
| 山辺支部        | 渡辺甚一郎  | 〒990-0331 東村山郡山辺町大寺453                        | 阿三浦繁則 023-664-8054 |
| 上山山形東高同窓会   | 中村直資   | 〒999-3171 上山市狸森1513                           | 江口敏昭 023-675-2120  |
| 山形東高同窓会米沢支部 | 大久保重範  | 〒992-1123 米沢市万世町桑山4131                        | 笹原裕一 0238-28-1736  |

# 各同窓会だより

(順不同)

## ◇上山山形東高等学校同窓会

平成27年1月25日にあづま屋において第63回親睦同窓会を35人の参加のもと開催しました。ご来賓として、矢野同窓会副会長、佐竹校長、今野事務局長をお迎えし、校歌斉唱の後、後藤直弘氏(東1回卒)に議長をお願いし報告が承認されました。

総会後の親睦会では、記念写真撮影の後、乾杯を行い、和やかな時間を楽しんだ後、全員で応援歌を斉唱し、万歳三唱後、来年の再会を誓って散会となりました。

(江口敏昭 記)



## ◇河北支部

平成26年度の河北支部総会は、同窓会本部の佐藤松兵衛副会長と母校の佐竹校長先生を来賓にお迎えし、9月19日に開催されました。総会では役員改選が行われ、新会長に鈴木明朗氏が選出され、新たな体制が承認されました。

その後の懇親会では、会員の近況や高校時代の思い出話に花を咲かせ、大いに盛り上がりました。最後に恒例となった「おお勝利」を合唱し、散会いたしました。

(古澤広喜 記)



## ◇栃木支部

栃木県支部の2014年総会は場所を集まりやすさを考慮しJR宇都宮駅近辺に移して11月16日(日)に開催されました。塩野会長、志田副会長始め10名の方の御参加をいただきました。中でも昭和23年卒の内ヶ崎先輩がお元気でお出されました。塩野会長の御挨拶のあと総会を行い、その後志田副会長の音頭で、矢吹副会長より贈呈いただいた上山産の泡が豊富なシャンパンで乾杯して懇親会をスタートしました。

乾杯の後、42年卒の佐藤洋さんの先端技術を駆使し

た宇宙と交信するボランティア活動に関する「宇宙へのロマン」と題する講演を拝聴し、種々の質疑応答が有り、



定年後の生き方に対し大いに参考になる講演でした。

今回のテーマの一つである栃木での生き方を教示しあうとい

うことを講演と出席者各人のスピーチを通して行い、今後の栃木県での生活に役立つ情報を得る事ができました。最後に校歌「羽前の三山」と応援歌「お、勝利」を斉唱しました。歌っている間は、心は時空を超えて、場所は栃木から山形の母校に飛び、時代はそれぞれが過ごした山形中学、山形一高、山形東高時代に回り、大いに盛り上がり

ました。最後に矢吹副会長に中締めいただき、2015年11月15日(日)に再会することを約束し、散会いたしました。次回は更に多くの方に出席していただくようにアイデアを練りたいと思っています。

(武田康夫 記)

## ◇最上支部

平成25年最上支部の総会は12月11日に同窓生11名が出席され、町内の「繁昌軒」にて賑やかに開催されました。当支部は現在18名で、昭和23年・山中「六一会」

～平成14年・東高「東愛会」という構成です。毎年この会を大いに楽しくさせるのは二つあり、一つは各同窓生による『一年の近況報告』。中でも今回は永井俊一支部長の“二条城の一日城主”の將軍様しか座れない場所に座った話で盛り上がりしました。もう一つは、高嶋昭前支部長の奥様でバイオリニストの池田敏美先生による『演奏会』と先生の伴奏での「おお勝利」「校歌」の『大熱唱』。これは当支部の誇りです。そして今年も親睦を深め再会を約束し散会しました。

(事務局 森 康夫 記)



## ◇東根支部

昨年の11月19日(水)、母校から2名と、土田東根市長をお招きし、東根支部の総会が開催されました。もちろん懇親会がメインです。

今回は会員30名の参加で、20代4名、30代6名、40代4名と、50歳未満がおおよそ半分、若手から大先輩まで揃っておりますので、どなたにとっても有意義、かつ、



多少の礼儀はあれど気兼ねする必要なく、とてもいい雰囲気です。懇談できたと思っております。

同窓の在勤在住の皆さん、東根支部会への年に一度の参加、どうぞよろしくお願い致します。

(幹事長 森谷 健 記)



### ◇酒田山東会

酒田山東会総会は11月7日に開催されました。3年ぶりに行われた今回の総

会には、若手の方々にも多く参加していただき、にぎやかな、そして華やかな会となりました。3名の物故会員への黙祷の後、浜田同窓会会長と北川事務部長から母校の近況をお話いただきましたが、皆興味深く、そして懐かしく聞き入っておられました。その後、にぎやかな酒宴となり、老いも若きも大いに語り合い、各自の近況報告が行われました。最後に「おゝ勝利」を歌ってエールで終了となりましたが、3年ぶりに歌う校歌と「おゝ勝利」には、感慨深いものがありました。

(幹事長 岡田恒弘 記)

### ◇尾花沢支部

支部総会及び懇親会を、11月9日市内「柏屋」で開催しました。ご来賓に浜田同窓会長、須貝教頭先生をお迎えし、また、大石田支部からも庄司副会長、布川幹事長にご出席いただき、総勢19名での久しぶりに賑やかな総会となりました。

総会では、大類昭夫前支部長のご逝去にともない、富士盛良一新支部長をはじめ、新しい役員が選任されました。

今年は、星川薫事務局長の奮闘によって、平成2年卒以降の若い会員6名の参加がありました。また、初参加の会員も多く、お互い近況を報告しあって懇親を深め、おひらきの後も会場に残って語り合う姿がみられました。来年も、ぜひ多くの会員の参加をお待ちしています。

(幹事長 鈴木欣一 記)



### ◇東海同総会

平成26年の東海支部総会は昨年11月15日に開催され、山形から浜田会長・母校の須貝教頭先生をお迎えしました。又、山形県名古屋事務所鈴木所長と東海山形県人会須田顧問も来賓として列席していただきました。

総会後の講演は、縁があって山形から榎飯田温泉総支配人の鈴木哲雄氏(昭和52年卒)に『2011/3/11～その時の山形』という演題で講演をお願いしました。東日本大震災の時の山形の旅館やホテルの奮闘ぶりを生々しく話して頂きました。「震災の時に本当は何が必要か」など大変参考になる話を伺いました。

平成27年の支部総会は、11月14日に開催します。会報をご覧の皆様是非ご参加下さい。

(副会長 酒井和義 記)



### ◇関西山中山東同窓会

第18回総会・懇親会が10月25日に大阪弥生会館で開催され、遠く山形から矢野副会長・今野事務局長にご臨席いただきました。懇親会では母校の近況や創立130周年事業について伺いました。2名の初参加者含め、今回も一人一人が近況報告しあい、芋煮や山形地酒『おお勝利』、高島ワインなどを堪能しながら親交を深めました。二次会にも多数参加。盛会のうちにお開きとなりました。

(幹事長 杉沼寛善 記)



### ◇米沢支部

山形東高同窓会米沢支部総会が7月8日夜、米沢市の東京第一ホテル米沢で開催されました。37名が出席、また佐竹俊明校長先生と本部同窓会から浜田敏同窓会長、今野雅行事務局長を来賓としてお迎えいたしました。

総会に先立ち恒例の講演会が開かれました。昭和45年卒洪間久氏(公立置賜総合病院 院長)による「これからの置賜の医療」でした。先生のこれまでの経験と様々



なデータを基に、置賜地域は4疾病(「がん」「脳卒中」「急性心筋梗塞」「糖尿病」)による死亡率は県平均より高い。特に脳卒中の死亡率は置賜地区が最も高くなっていること、高齢化が進んでおり、お年寄りの慢性疾患が増えると予想されることから、公立置賜総合病院がこれまでの置賜地域の病院と連携しながら、拠点となってこれらの疾病に対処していくことの大切さを話されました。

支部長は大久保重範氏に引き継がれました。懇親会では平成卒業の若い会員が11名出席するなど幅広い年代からの出席で、一人一人の自己紹介もあり親密な懇親を深めることができました。

## ◇大石田支部

なぜか大石田支部総会の日は大雪に見舞われるようです。1月17日、恒例の支部総会を「手打ち大石田そばきよ」にて開催しました。

ご来賓に浜田同窓会長、佐竹校長先生、今野同窓会事務局長をお迎えし、また昨年に引き続き尾花沢支部からも富士盛支部長はじめ3名の方々にご出席いただき、賑やかな総会となりました。

浜田同窓会長より130周年記念事業のお話と、記念誌を頂戴致しました。

懇親会では、地元ならではの美味しい料理で酒を酌み交わし、締めは店主渾身の手打ちそばに舌鼓を打ち、最後に「おお、勝利!」を合唱。また来年の再会を約束してのお開きとなりました。

(事務局 大類 記)

## ◇山辺支部

昨年12月6日、雪の降りしきる中、浜田会長、須貝教頭先生のお二方においでいただき、町内の「三河屋」において第34回総会を開催いたしました。年に一度母校の現況を伺うのを楽しみにしているのですが、この度も会長から母校創立130周年記念事業に係る報告をいただき、教頭先生からは、『学校紹介』、『山東通信』、『校長室だより』をもとに生徒諸君の活躍ぶりを伺い、とても嬉しく思ったところです。出席者一同、山形新聞特集号『未来は山東から』の集合写真を目にして若かりし頃を思い起こし、しばし年を忘れて和やかに歓談に耽りました。

(幹事長 三浦繁則 記)

## ◇東友会

### 「三水会」ついに450回突破

昭和54年、故松木清、角田不三雄両先生の古希祝賀会の準備会を重ねるうちに、月例の同期会を持とうという話になった。毎月第3水曜日、「三水会」と名付け、5月に発足。以来35年、昨年8月で450回になり、9月に記念祝賀会を開催した。4年後には500回を迎えることになる。それまで健康でいたいものだ。

母校は今年創立130周年。その半分の65周年は昭和24年だった。山中から一高になって2年目。私たちが一高1年に進級した年。昭和21年山中入学～27年東高卒業の在学期間の真中の年だった。東友会は今年、130年の歴史の真中の学年、という位置にある。

(日野顕正 記)

## ◇龍雲会

龍雲会は卒後半世紀を迎え、多くは数え70歳。その古希を祝う会が2014年10月25日、山形市内のホテルで開かれ、紅顔の美少年(?)60人が青春のほろ苦さをかみしめながら熱い思い出に花を咲かせた。

舟木一夫の「高校三年生」がヒットする中、卒業年の昭和39年は東京五輪の開催や新潟地震の発生など、感動と衝撃を与えるニュースが交錯した。以来、古里と母校の発展を願いつつ、迎えたのが「古来希な」70歳。が、古希とはいえ、気持ちは今も青春。祝う会ではチョークを教室中に投げつける先生方の“特技”やあだ名を思い出し、甘酸っぱい話題に顔を染めつつ、喜寿の祝いとなる2021年同窓会での再会を約して名残を惜しんだ。

この間、来賓の志村宗孝先生が「古希」の出版とされる唐の詩人・杜甫の七言律詩「曲江」を朗読・解説し、80歳を過ぎてでもなお明晰な頭脳を披露。母校応援団リーダー・チアリーダーもフレッシュなパフォーマンスを見せた。

(長岡 喬 記)





## 敬

## 弔

同窓会報66号掲載以降～平成27年2月19日までに判明した方々です。

## 平成9年

6月7日 佐藤日出雄氏 (山東1回)

## 平成20年

6月 達 徹氏 (山中56回)

## 平成24年

3月22日 佐藤 伸之氏 (山東2回)

6月26日 平 真次氏 (山中55回)

6月26日 今井 昇司氏 (山東3回)

11月 柏倉 惇一氏 (山東4回)

## 平成25年

3月 田中真左志氏 (山中47回)

3月6日 松岡 忠男氏 (山東5回)

5月14日 藤田恵一郎氏 (山東5回)

5月17日 大山 明氏 (山東3回)

5月31日 廣田 信郎氏 (山東5回)

6月11日 伊藤 正雄氏 (山中58回)

8月29日 山口 勝也氏 (山中54回)

8月31日 鈴木 捷雄氏 (山東7回)

10月16日 工藤 芳子氏 (旧職員)

10月 山川 敏夫氏 (山中49回)

11月20日 立花 孝史氏 (山東5回)

11月23日 片桐 茂良氏 (山中57回)

11月26日 細谷 巖夫氏 (一高2回)

12月28日 朝倉 孝氏 (山中58回)

12月30日 工藤 健一氏 (山中56回)

12月31日 大滝 俊史氏 (山東24回)

## 平成26年

鈴木順一郎氏 (山中58回)

1月 佐久間 豊氏 (山東10回)

1月8日 稲田 哲雄氏 (山東4回)

1月11日 長岡(長沢)道子氏 (山東1西)

1月17日 金原 恒夫氏 (山東7回)

1月17日 早川 圭二氏 (山中59回)

1月18日 吉松 廉氏 (山中52回)

1月22日 五十嵐孝雄氏 (山東11回)

2月 村川 茂氏 (山中56回)

2月15日 柏倉 昌経氏 (山中61回)

2月17日 笹島 熙郎氏 (山中48回)

2月18日 工藤 範夫氏 (山東7回)

3月2日 田中 源典氏 (山東2回)

3月5日 船山 靖彦氏 (山東1回)

3月5日 池田 正紀氏 (山東9回)

3月8日 伊藤 文夫氏 (山東2回)

3月13日 中川 泰彬氏 (一高2回)

3月13日 大野 茂徳氏 (山東10回)

3月18日 鈴木 俊六氏 (一高2回)

3月18日 石垣 岳彦氏 (山東7回)

3月30日 大木 辰夫氏 (山東5回)

4月 櫻井 靖輝氏 (山東6回)

4月2日 石井 武彦氏 (山中58回)

4月9日 菅野 修氏 (山東3回)

4月15日 小林 伸昭氏 (山中59回)

4月16日 柏倉 貞一氏 (山東17回)

4月20日 佐竹 義昭氏 (山中59回)

4月23日 駒澤(林)倍代氏 (山東2回)

5月 鈴木 三雄氏 (山東8回)

5月1日 小関 大平氏 (山東34回)

5月15日 伊藤 春男氏 (山中59回)

5月23日 安孫子健一氏 (山東11回)

5月24日 佐藤(小関)俊子氏 (山東5回)

5月25日 渡辺多美男氏 (山中56回)

5月25日 庄司 直弥氏 (山東6回)

5月31日 菊地 博氏 (山東18回)

6月1日 石倉 健司氏 (山東2回)

6月1日 落合 明氏 (山東23回)

6月3日 西塔 邦夫氏 (山東2回)

6月4日 鈴木 正毅氏 (山東8回)

6月10日 小林 善彦氏 (山中61回)

6月15日 増川 敬氏 (山東10回)

6月19日 広谷 忠二氏 (山中58回)

7月4日 加藤 茂氏 (山東2回)

7月4日 佐藤(丹羽)啓蔵氏 (山東16回)

7月17日 木村 正男氏 (山中53回)

7月18日 佐藤 正美氏 (山東45回)

7月24日 山口芳太郎氏 (山中51回)

7月28日 鈴木 靖雄氏 (山東8回)

8月1日 安達 兼雄氏 (山中58回)

8月4日 林(秋葉)則子氏 (山東2西)

8月7日 山内 道夫氏 (山中60回)

8月18日 佐藤 之也氏 (山東7回)

8月20日 桐生(松田)徳義氏 (山東5回)

8月21日 鈴木 薫氏 (山東1回)

8月22日 高橋 宗伸氏 (旧職員)

9月 三澤 光男氏 (山中61回)

9月1日 佐藤 潔氏 (山東4回)

9月2日 倉本 憲明氏 (山東18回)

9月5日 鈴木 秀芳氏 (山中55回)

9月7日 加藤(高見沢)徹氏 (山中57回)

9月9日 水野 武志氏 (山東6回)

9月11日 那須 喬氏 (山東8回)

9月16日 佐藤 茂夫氏 (山中56回)

9月16日 木口 弘氏 (山東4回)

9月19日 斎藤 常吉氏 (山中54回)

9月20日 柴田 武氏 (山中52回)

9月22日 玉上(阿部)孝男氏 (山中55回)

9月26日 布施 哲太郎氏 (山中49回)

9月30日 須貝 和夫氏 (山中61回)

9月30日 佐藤(熊谷)てる氏 (山東3西)

10月1日 高橋 富弥氏 (山東9回)

10月2日 藤島(斯波)典子氏 (山東17回)

10月7日 榎森勘右工門氏 (山東3回)

10月10日 船山 昂沃氏 (山東3回)

10月12日 菊地 靖夫氏 (山東12回)

10月16日 斎藤 俊夫氏 (山東19回)

10月17日 飯野 正典氏 (山東5回)

10月21日 吉田 仁三氏 (山中58回)

10月31日 赤間 道義氏 (旧職員・山中47)

11月10日 佐藤 卓夫氏 (山中58回)

11月23日 榊 直徳氏 (一高2回)

11月24日 荒木 健二氏 (山東14回)

11月25日 佐藤 定雄氏 (山中54回)

12月4日 武田 陽氏 (山東6回)

12月4日 太田 昭夫氏 (山東12回)

12月9日 木村(渡辺)嵩氏 (山中54回)

12月10日 中野 博氏 (山東9回)

12月12日 半田 英男氏 (山東7回)

12月16日 磯崎 康正氏 (山東1回)

12月21日 清水(今野)正子氏 (山東1西)

12月26日 宇野 準悦氏 (山東1回)

12月26日 増子(遠藤)喜久子氏 (山東1西)

## 平成27年

1月1日 神保 亮氏 (山東6回)

1月11日 堤 睦水氏 (旧職員)

1月15日 幕田 豊氏 (山中58回)

1月18日 柴林 茂雄氏 (山中54回)

1月22日 荒井 富氏 (山東2回)

1月25日 佐藤 権平氏 (一高2回)

1月29日 山口 友治氏 (山東1回)

1月30日 武田 明男氏 (一高1回)

2月2日 富樫 亮一氏 (山東12回)

2月3日 田中 義三氏 (山中58回)

2月6日 城戸口正紀氏 (山東1回)

2月7日 蜂屋 勝二氏 (山中61回)

2月11日 斉藤 純一氏 (山東25回)

2月12日 庄司 亮一氏 (山東26回)

## 事務局日誌

## 平成26年

4月3日 事務局会議

構成・業務分担

(まつり実行委員会は随時)

4月8日 平成26年度入学式(学校)

5月13日 第1回役員会

平成25年度決算、

平成26年度事業計画・予算案

130周年記念事業について

5月16日 山形市役所東高会総会

6月16日 山形県庁東高会総会

7月8日 米沢支部総会

7月10日 全国大会出場選手激励会

7月23日 文化部OB会総会

8月19日 会計監査

8月27日 第2回役員会

平成25年度事業報告・決算・監査報告

平成26年度事業計画・予算

平成26年度同窓会総会・表彰式・まつり

次期同窓会役員選出

## 130周年記念事業について

8月29日～31日 山東祭(学校)

同窓会「山東歴史資料の展示」

8月30日 「30歳になったら東高に帰ろう」

ホームカミングデー東愛会(とうあいかい)

9月3日 第1回評議員会

第2回役員会と同じ内容

9月12日 寒河江支部総会

9月19日 河北山東会総会

10月17日 同窓会総会・表彰式・まつり

記念コンサートと東日本震災の記録の

朗読会、アーティスト・生徒の交流会

10月25日 関西山中山東同窓会総会

10月29日 創立130周年記念式典(やまぎんホール)

11月7日 酒田山東会総会

11月9日 尾花沢支部総会

11月15日 山中山東東海同窓会総会

11月19日 東根支部総会

11月20日 仙台同窓会総会

11月28日 山中山東東京同窓会懇親会

11月30日 山形放送で「未来は東から……朗読会・

記念コンサート」を放送・DVD作成

12月6日 山辺支部総会

12月12日 130周年記念事業会計監査

12月16日 130周年記念事業実行委員会

解散総会

## 平成27年

1月17日 大石田支部総会

1月25日 上山山形東高同窓会親睦総会

2月2日 体育部OB会総会

2月12日 第3回役員会

平成26年度補正予算、

平成27年度事業計画・予算、

まつり決算報告、実行委員会

解散後の支出報告

2月18日 第2回評議員会

第3回役員会と同じ内容

2月19日 山形県庁東高会総会

3月2日 同窓会入会式

平成27年卒山東65回勲東会

3月2日 まつり幹事引継会

3月3日 平成26年度卒業式(学校)

## 校歌の「羽前の三山」について

終戦翌年の昭和21年、山形中学に入学して校歌を教わった時、「羽前の三山は出羽三山のこと」「出羽三山は月山、湯殿山、羽黒山」と聞いて、おかしいと思った。月山はいいとして、湯殿山は山形方面から見て月山の左肩の一部に過ぎないし、羽黒山は月山の陰の低山で、全然見えないからである。

2年後山形中学は山形一高になり、さらに2年後山形東高になったが、校歌はそのまま継承された。ただ歌詞の「山形中学」の部分「ヤマガタトウコウ」と略称で歌うようになり、強い違和感を覚えた。その後暫く、同窓OBは「チューガク」と「トーコー」の「混唱」が続いたのを覚えている。

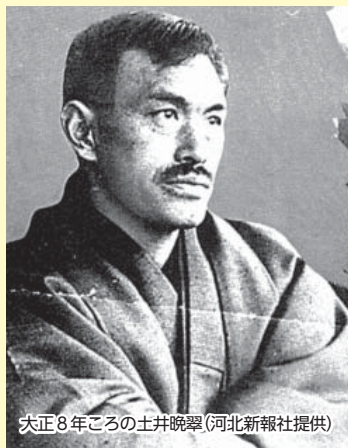
さて、「羽前の三山」が何を指すのかは、その後も同級会などで問題になってきた。そして一昨年、東京東友会でまた話題になったと、近岡武男君が伝えて来た。「羽前の三山」の候補に月山、蔵王、朝日連峰のほか、葉山、雁戸、瀧山から千歳山、盃山まで諸説が出たという。

「虚空を凌ぐ」「偉大の姿」「理想の高きを仰げと宜す」云々の歌詞からすれば、近くの小さな山は対象から除かれよう。

山形の市街地は村山盆地の南に偏っていて、周囲の山岳の眺望があまりよくない。月山は全貌が見えるが、朝日連峰は白鷹山塊に遮られ、蔵王山は瀧山の陰に隠れて見えない。

私の故郷の天童市など村山盆地中央部から山形市の北郊にかけては月山、朝日連峰、蔵王連峰の眺望がきわめてよい。これほど多くの名峰が望めるのは全国でも中部山岳地帯以外にあまりないのではないかな。私自身、幼時からそれら名峰の「偉大の姿」に「無言の教へ」を受けてきたと思っている。

さて、「羽前の三山」の語句はどこから来たのか。作詞者土井晩翠は実際に山形に来て、景観、山並みを目にしたことがあったのか。



大正8年ごろの土井晩翠(河北新報社提供)

かつて本校の90年史編纂を命じられた時、校歌が制定された大正13年の「山形中学校共同会雑誌」創立40周年記念号や当時の地元新聞を、ざっと一覧したことがあった。今回また記念号を調べたが、「校歌を制定し、全員で斉唱」したとあるだけで、制定の経緯については全然触れていな

い。木幡忠校長の式辞も校歌の制定には全然触れていない。その前後の号も見したが、校歌関係の記事は見当たらなかった。

晩翠の来形の有無を見る詳しい年譜はない。東友会同級の小野克彦君と電話でその話をしながら、もし晩翠の日記があればわかる、ということになったが、晩翠の日記は仙台文学館にも国立国会図書館にも存在しなかった。

当時、仙台から山形に来るには、鉄道なら福島から板谷越え(仙山線全通は昭和12年)、道路なら関山峠越えであろうか。晩翠は40歳、夙に文名を天下に馳せていた二高教授土井晩翠氏の来県なら山形新聞に当然記事があるはずと、同社の読書センターに検索してもらったが、ずっと後年の昭和15年(西村山郡大谷村＝現朝日町)と同21年(上山農業学校)しかなかった。

結局、仙台的晩翠草堂の管理者、菊地昭夫氏のお話がいちばん参考になった。晩翠は多くの校歌を作ったので有名であり、その数は310校を超えるという。その範囲は旧大日本帝国の版図、樺太、朝鮮から台湾まで、さらに満州からブラジル・サンパウロにまで及ぶ。一々その地を訪れて作詞しているわけがない。菊地氏の母校北上市の岩手県立黒沢尻工業高等学校の校歌は、遠くて全然見えない「和賀岳を仰ぐ」という歌い出しになっているという。

土井晩翠は本校の校歌も、山形を訪れることなしに作詞したであろう。

とするとまず第一に考えられるのは、晩翠の山形のイメージが、私の幼時からのイメージのような、山形盆地をめぐる雄大で美しい山並みであり、それに県の基幹校である中学の健児たちのイメージを重ねて、自然に浮かんだ「羽前の三山」であろう。

もう一つ。抽象的な「月山」であるにせよ、晩翠が写真か絵で知っている月山の姿であるにせよ、そのイメージが「出羽三山」のイメージと重なって、「羽前の三山」という語が浮かんだのではないかな。「出羽三山」では語呂が合わないし、語感もよくないし、という推理である。

ただ、これだと月山に伍して湯殿山、羽黒山も屹立していないとうまくない。私はやはり前者の説をよしとするが、どうだろうか。大方のご教示を仰ぎたいところである。

いずれにしても、わが校歌が「月山」とか「蔵王」とかの固有名詞で始まっていなくてよかったと思う。ある意味、抽象化されたこの冒頭句が、本校校歌の気宇広大さと品位を決定づけていると思う。「晩翠調」の中でも最も品位と雄壮を兼ね備えた詩になった。また冒頭句から結句まで内容は首尾一貫し、中田章の名曲と相まって、最高の校歌になったと思う。高唱するとこみあげて来るものがある。

(昭27年卒 第33代校長 日野顕正 記)

### 編集後記

同窓会報第67号が出来上がりましたので、お届け致します。同窓会員の皆様のお力添えを賜り、130周年の記念事業が盛大に執り行われました。私共も、編集作業を通し、「山形東高ほまれの歴史」を、改めて実感したところです。今後とも、母校の発展と後輩諸君の健やかな成長を、どうぞ温かくお見守り下さい。

佐藤信敬(志成会)・志村克久(東玲会)